

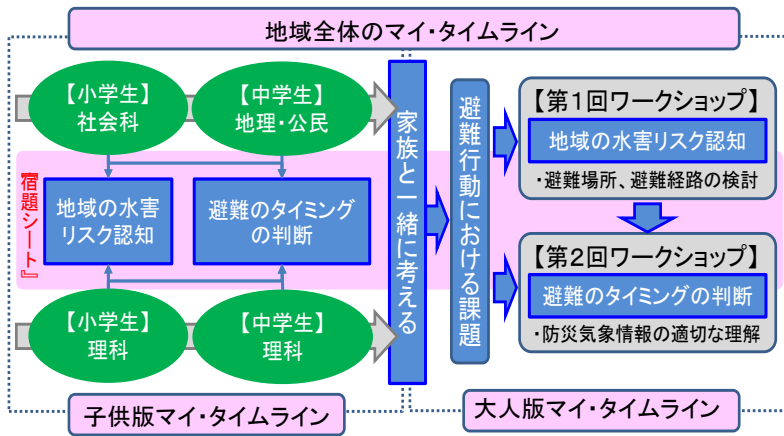
■ 地域全体で水防災意識を醸成するための資料を作成

避難行動について家族と一緒に考えることができるように「子供版マイ・タイムライン」を作成し、地域のワークショップ等で情報を共有できるマイ・タイムライン作成支援ツール「大人版マイ・タイムライン」を作成

■ 栄町立布鎌小学校をモデル校とし、水災害教育の実施支援資料を作成

- ・「自分たちの地域を知る」、「避難行動を学ぶ」、「避難行動をまとめる」の観点から、水防災教材素材(9コマ分)を作成
- ・担当教員が取捨選択し、授業準備の負担軽減を図るような『素材集』として提供
- ・本教材はモデル校を対象とした教材であるため、利根川下流域の小学校への水平展開用として今年度作成予定

【利根川下流域における水防災教育(案)】



【布鎌小学校における水災害教育内容】

I. 布鎌を知る(3コマ)

- ①布鎌地域の地形を知る
- ②布鎌地域の過去の水害を知る
- ③栄町の防災対策を知る

対象学年:
小学5年生

II. 台風時の避難行動を学ぶ(3コマ)

- ④ハザードマップの見方・使い方を学ぶ
- ⑤安全な避難所と避難ルートについて考える
- ⑥避難するタイミングを知る

III. 台風時に備えたマイ・タイムラインを作成する(3コマ)

- ⑦マイ・タイムラインの考え方・作り方を学ぶ
- ⑧マイ・タイムラインを作成する
- ⑨マイ・タイムラインを作成して学んだことを共有する

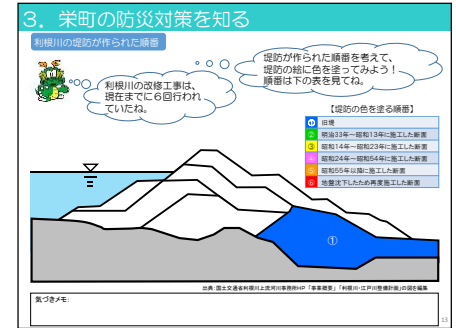
【生徒たちを飽きさせない仕掛け】:生徒たちに一方的に話しかけるのではなく、クイズ・問いかけ、塗り絵、並び替え等の仕掛けを取り入れるなどの工夫を実施

【大規模水害時の動画の活用】:授業の導入部分では、インターネットやYou Tubeで検索した平成30年7月豪雨の被害状況など大規模水害時の動画活用

【3択クイズを用いた教材】



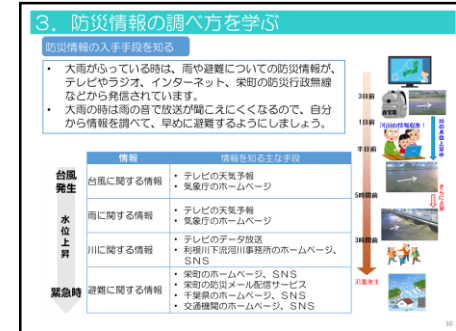
【塗り絵方式の教材】



【ハザードマップを用いた教材】



【情報収集の教材】



【試行授業の様子】



新聞掲載(東京新聞)

2019年(令和元年)11月16日(土曜日) 千葉中央 地域の情報 24

水害 人ごとじゃない

栄布鎌小 防災教材づくり

栄町教育委員会と町立布鎌小学校、国土交通省利根川下流河川事務所が、水害から身を守る防災教育の教材づくりを進めている。以前から決まっていた取り組みだが、十月の台風19号接近時には同校が避難所になり、付近の利根川の水位が上昇したため、研究授業に随分児童は興味と関心を深めている。(小沢伸介)

笑顔と思いやりに
喜びと幸せ
宗教法人 雲波之光

千葉県 04-7121-2111代
http://www.chk.or.jp

県内の天気
きょう あす
千葉 晴 晴
銚子 晴 晴
水戸 晴 晴
きょうの予想 (千葉)
降水確率 朝0% 昼0% 晩10%
気温 最高19度 最低10度
北西のち北の風

千葉支局
〒200-0013
千葉市中央区
中央3-4-8

布鎌地区は、かつて利根川の所川だった磐龍川、利根川に往々長門川の三つの河川に囲まれた輪の中内川に位置し、江戸時代以降、大小二回以上の水害に見舞われてきたという。

教材は、地区の地形や過去の水害、ハザードマップの見方や避難方法、防災行動計画(タイムライン)作りの三構成。全九回の授業で児童の防災意識を高め、家族に伝えることも行うことで地区全体の減災を目指す。来年度から同校五年生の授業に取り入れる予定だ。

同校では、教材づくりに合わせて今年から研究授業が行われている。十二日に二回目の授業があり、五、六年児童二十一人が利根川の四大洪水や昭和の水害をクイズ形式などで学んだ。

児童は、利根川の水位が七・五メートルを超えると洪水が起き、水面が校舎の二階に達すると知って水害の怖さを実感した様子。広範囲が水没した「明治四十二年庚戌の大洪水」は、地区の東端にある長門川の堤防決壊が原因だったと説明されると、驚きの声が続々と返ってきた。

同事務所の関係者は「河川改修で昔より安全になっているものも百パーセントではない。明後年には逃げなければならない。これからは地域性に合った防災教育に協力してほしい」と話した。

台風19号に 避難所に 実感 減災に生かす